

答 4歳5歳の保育園児が、今までできなかったことを幼稚園児と同じようにできるようになったり、一方、幼稚園児が、0歳児1歳児と触れ合うことができるようになった。双方の教育にとって非常にメリットがあるとの報告を受けている。御前崎、白羽、高松の各保育園の5歳児については、朝、幼稚園に登園させ、午前中、幼稚園児と一緒に教育を受けてから保育園へ入るということを考えている。今年度末から積極的に幼保の交流を図って意識の壁を取り外していきたい。3〜4年後を目途に連携を進めたいと考えている。



問 清川泰次美術館の入場者について、入場料を支払って入館する割合は、どれ位か。また、清川泰次氏以外の絵画を展示するという話は、その後どうなったのか

答 939人の入館者に対し、収入が11万8千円であるということは、無料で入館した割合が相当多いということである。清川泰次氏以外の絵画を展示することについては、現在、美術館の2階部分についてのみ使用許可をいただいているが、文化協会の絵を展示したりして、積極的に活用していきたいと考えている。

問 先般の台風で長時間にわたって市内は停電したが、下水道事業での停電対策は

答 佐倉処理場、忍沢処理場において、後処理を行った。管路途中の中継ポンプが相当数停止しマンホールから汚水が溢れた箇所もあった。災害の対処方法について再度、課内で検討しているところである。



問 総合病院として、本来必要な医師の数は、何名か。また、現在、勤務している派遣職員は、何名で、どこから来ているのか

答 御前崎総合病院の届出ベッド数は、一般が248床、療養が54床であるため、19名の医師で足りている。非常勤の医師は22名で、名古屋市立大、浜松医大から派遣されている。病院が雇用している非常勤職員は、医師22名、技師2名、看護師が21名、事務員が27名、介護員が19名、合計91名である。

問 高額な医療機器の更新時期について聞きたい

答 病院には約1、300品目の医療機器があるが、それぞれ耐用年数がある。修理できるものは修理して使用しているが、修理不可能なものについては更新をしている。更新にあたっては、病院幹部会で検討し、患者の安全にも考慮した上で購入している。

問 大学が医師を派遣したくなるようなメリットはないか

答 病院は、赤字覚悟で経営するという考えのもと、医師の給料を上げることが、医師確保ができれば問題ない訳であるが、それも中々クリアできない。設備面は問題ないが、浜松から通える範囲でない等、全てが魅力ある病院という訳にはいらない。

